

第199回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年6月5日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
古磯 勝子 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
長 茂男
君島 理恵

(2) 欠席委員の氏名 畠山 大

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月4日に放送したふるさと応援番組「とちぎのいいものがたり」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、この4月から放送をスタートした毎週日曜日の朝9時から30分間の録音番組として放送している栃木県観光交流課提供のふるさと応援番組です。

「とちぎのいいもの」を紹介する県が発行の“食の手帖”。そこに掲載されている企業を取材し、魅力ある県産品と、それを生み出す人々や県内の観光に関するイベント等を紹介する内容です。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

県の特産品を紹介するという番組趣旨が良い。県外の人にお土産を買っていくのに参考になる情報を紹介していて、二条大麦の生産が日本一であることなど、これまで知らなかった有益な情報を知ることが出来た

委員：

BGMが日曜の朝に合った軽い曲調で全体的に心地よかった。また、今回の取材内容に合わせ、大麦畑がイメージ出来るような曲調のBGMもあり、センスの良さを感じた。

委員：

吉田さんは、穏やかで、聞く人をなごませる声質であり、日曜の朝の雰囲気にも合った喋りだ。しかし、アクセントや滑舌に難があり、また、語尾を延ばす癖が気になる。また、最後の英語での挨拶は、カタカナ発音になって、聞き苦しかった。

委員：

インタビューで登場した植竹常務と川島店長のお話は、内容も分かりやすく、ともに一所懸命仕事の内容を伝えようと話している様子が浮かんできた。

一方、吉田さんは、原稿を棒読みするように話すのが目立ち、番組を聞き終えて振り返っても、その言葉で印象に残るものが何もなかった。

言っていることが伝わってこない喋りは退屈を感じる。

その結果、内容に興味を沸かず、番組自体が面白く感じられなかった。

委員：

内容の伝え方に目立った工夫もなく、番組全体が予定調和の範囲の中で、淡々と物事を紹介し続けることで、番組が進行している。

他の自治体提供番組では、あえて予定調和をなくして、現地での生の言葉・反応を番組に活かす演出をしているものもあるし、この番組でも、もっとワクワク感のある作りに出来ないものか。

委員：

番組ホームページは、台本をそのまま掲載している箇所もあり、全体に文章が長過ぎではないか。

番組を聞き逃した人にとっては、それで内容が分かってよいのだが、やはり、話をまとめてから掲載してほしい。

委員：

取材パートの後にかかった「渡良瀬川」は、歌詞こそ足利つながりではあったが、そこまでの放送内容とのイメージとのギャップがあり、違和感があった。

委員：

喋り手とは、それぞれの個性ある声質の上に、言葉を乗せ、そこに気持ちを込め、テンションで伝え方を調節していくものではないかと考える。しかし、吉田さんは、言葉の乗りも足りなく、内容を伝える強弱が甘く、今後、喋りのスキルアップをはかる必要があると感じた。

番組自体は、情報として価値のある内容を紹介しているのだから、もっとその放送をリスナーが楽しみにして聞けるような工夫が加えてほしい。

今後も番組の質を向上させ、このような番組を作ることで地域を盛り上げて行ってほしい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を7月3日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 6月29日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし